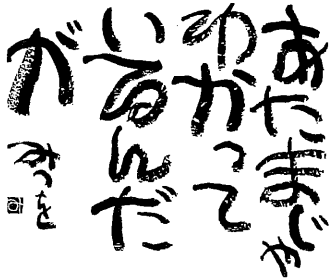


さくら第559号

令和8年 7月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬 重雄
 春江町境 17-7・Tel51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp



『準備の大事さと確認』

各学校やスポーツクラブなどで運動する時にはウォーミングアップという身体をほぐし、柔軟さをもってケガをしないように準備運動を行います。運動の種類により、それに合うようなトレーニングを行い、やる気を増します。

プールや海水浴ではいきなり水の中に飛び込んだりしません。何といっても安全第一。

また、スポーツをする時にはそれに合った用意が必要です。ランニングでは厚底のシューズが安全で記録も出やすいと聞きます。

ところで、あなたはそろばんの練習で通塾する時にどんな準備をしていますか。点数をアップさせるためには計算する数を増し、ミスを防ぐ方法をいつも考え、実行せねばなりません。

練習時間を1時間とするならば、教室に入り出席カードにハンコを押した時から練習時間がスタートしています。

席に着くまでだらだらせず、着席すればすぐにエンピツ・そろばん・文ちゃんなどを用意し、問題集やプリントを広げ計算を始めます。

「先生、何するんですかー」と言いながらぼんやりせず、暗算問題集で1題でもいいから計算することが大事です。自分で考え、すぐ行動するクセを身につけてください。

できた問題に○や×をつける時に、数字の6や9や8には丸くなる部分があり、必ず白い部分がなければ×になります。

エンピツの芯の先が減って丸くなったエンピツ。削ってないので芯がなくなりエンピツの木の部分でこすれて数字が読めません。新しいのを出してくださいと言え、これ1本しかない

というのでペンケースを見れば、3本全部が使い物になりません。4cmほどの短いのがあるので、物を大事にすることはとても良いですが、これでは書けないので、エンピツキャップを付けて書きましようと話します。

何事にも準備が必要です。今から行おうとしている事に注意をはらい、良い結果を得るための心構えをしっかりとってください。

運動するために履いたシューズのひもをしっかり結ばずに動けばどうなるでしょうか。言わなくても判断できますね。

5月31日に第433回全珠連段位検定試験が施行され、午後から審査会がありました。県内3会場から持ち寄られた、珠算46名、暗算28名の審査を行いながら、計算ミス以外で×になった問題を調べました。

一番多いのが、6、8、9でエンピツの芯が減って先が丸くなり空白部分がなく、つぶれていることです。ふだんの練習で注意せず書いていることが、試験でもそのまま表れています。

応用問題では、円、cm、個などの名数の書き忘れや、ドル計算では小数第2位まで記入せず1.2で×です。1.20まで書くようにと何度も話して書いて示しますが、忘れていきます。

三角形や台形の面積計算で、2で割らずにそのまま書いて×です。円の面積で直径が書かれていると半径にせず×です。

応用問題では、答えが1234.5と3桁目のコンマの記入もれが多くいます。このような基本的な計算方法をおろそかにせず、ふだんの練習をいかに真剣に大事にするかです。

第433回の検定試験終了後のアンケートで、ふだんの、いつもの練習で気をつけることとして、あせらないこと、数字をていねいに書く、本番を想定したスピードと緊張感を持つ、昨日よりも1題でもできる数が多くなるように工夫して取り組む、簡単に解けるものほど慎重に計算するなどあります。今回の段位珠算の合格率は26%で暗算は46%でした。

先ほどのようなミスは「たったの1秒」の確認で防げます。ささいな事に全神経を込めよう。

草千里

一二三と

霧湧いて

季節

霧(秋)

高澤良一